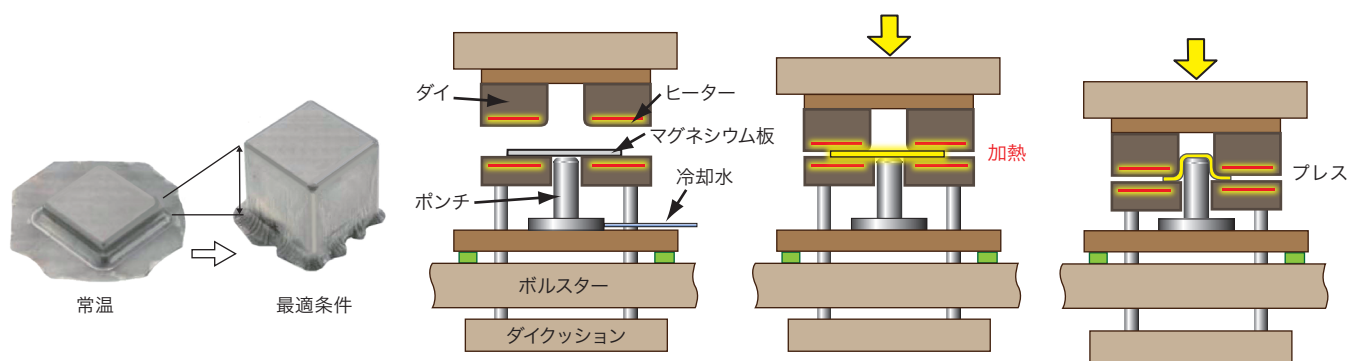


マグネシウム合金帯のプレス加工

日本金属は、マグネシウム合金帯の加工に加熱金型とサーボプレスを組み合わせた温間プレス加工を推奨しています。

マグネシウム合金帯の温間プレス技術

- マグネシウム合金帯は、200～300℃の温間加工することで、深絞り成形品が得られます。
- 温間プレスによって厳しい加工形状の製品も高い寸法精度で加工できます。
- 金型は、ダイとプランクホルダーに加熱装置が、ポンチに冷却装置が付加されたものを使用します。
- サーボプレスは加工速度、停止・保持が自在にでき、絞り加工性に適しています。



マグネシウム合金帯の表面処理技術

マグネシウム合金帯は、耐食性の向上等を目的に表面処理を施します。

マグネシウム合金帯の表面処理技術

表面処理技術	技術説明
化成処理	マグネシウム合金の耐食性を向上させ、導通を有する数百nmの薄い皮膜を形成することで、ノートパソコン・モバイルなどのシャーシ・筐体に幅広く採用されています。
陽極酸化処理	マグネシウム合金を電解処理によって数μm以上の酸化皮膜形成し、耐食性を向上させます。